



「生涯ハケン」「正社員ゼロ」社会への暴走を許すな

労働者派遣法の大改悪ストップ



働く者を大切に する 労働法制への 転換を

悪法廃案一点で共同を
日本共産党が呼びかけ

安倍内閣は、「常用雇用の代替に
してはならない」「臨時的・一時的な業
務に限定する」という派遣労働の大原
則をとりはずし、正社員の派遣への置
き換えを歯止めなくすため、いつまで
も派遣で使い続けることができる、労
働者派遣法の大改悪案を今国会に提出
しました。

この派遣法の大改悪案に、「生涯ハ
ケン」を押しつけ、「正社員ゼロ」社
会にしているのか、という批判と危惧
がひろがっています。

労働者派遣法の大改悪は、派遣労働
者だけの問題ではありません。労働法
制をどうするかは、労働組合だけの問
題でもありません。若者が希望のもて
ない社会、結婚もできない劣悪な労働

日本共産党の「政策アピ
ール」に賛同します

派遣法の改悪を許せば、労働者全体
の雇用環境が悪化するとともに、労働
法制の全面改悪の突破口になります。

力をあわせて廃案にし
ましょう。

自由法曹団幹事
藤田 温久

条件の広がり、多くの国民が心を痛
めています。

非正規雇用は、中高年にも広がり、
雇用不安、社会不安を広げています。
労働法制をどうするかは、日本経済と
社会のあり方にかかわる重大な問題で
す。

派遣法の大改悪に対して、労働運動
のナショナルセンターの違いを乗り越
えた共同の力での反撃がはじまってい
ます。大きな国民的共通で、安倍政
権の「生涯ハケン」「正社員ゼロ」社
会への暴走をストップさせようではあ
りませんか。

日本共産党は、労働者派遣法の大改
悪に断固反対するとともに、労働者と
国民の連帯の力で、この悪法を廃案に
おい込むことを呼びかける「政策アピ
ール」を発表しています。

「正社員の残業代ゼロ」 「過労死促進」許すな

安倍政権は財界の意向に沿い、「正
社員の残業代ゼロ」「過労死促進」に
つなげる労働時間の規制を撤廃する制
度導入の検討をはじめています。

何時間働いても「残業代ゼロ」とい
うのは、人間らしく働くルールを根こ
そぎ破壊し、ただ働きを広げ、際限の
ない長時間労働をもたらします。こん
な規制緩和は、やめさせなくてはなり
ません。

「使い捨て労働」を一掃するために ブラック企業の規制を

日本共産党は、若者を使い捨て
にする「ブラック企業」の野放し
を許さないために先の国会に「ブ
ラック企業規制法案」を提出し奮
闘しました。

さらに、「ブラック企業」が長

時間労働を強いる無法行為を告発
し、厚労大臣に実態調査などを約
束させてきました。

日本共産党はひきつづき、「ブ
ラック企業」の無法を許さないた
めに、全力をあげます。

「政策アピール」は日本共産党のホームページからダウンロードできます。

2014年5月号外 日本共産党の見解を紹介します。

日本共産党

革新のひろば

発行 日本共産党神奈川県委員会
住所 横浜市神奈川区西神奈川1-18-12
電話 045-432-2101 FAX 045-432-2103